

国道239号 霧立防災

きりたち

延長0.6 km

令和4年12月14日（水）通行方法の変更

- 国道239号は、網走市を起点とし、名寄市を経由して留萌市に至る幹線道路です。
- 霧立防災は、地すべり等の危険箇所及び落石・雪崩等による通行規制区間の解消を図り、道路の安全な通行の確保を目的とした、延長4.9 kmの防災事業です。
- このうち、苫前町字霧立における延長0.6km区間の新ルートが一部通行可能となりましたので士別方面の通行方法を変更します。

▼事業概要



▼事業の位置



凡例	
	高規格道路
	開通済み
	事業中
	一般国道
	主要道道

整備前



通行方法の変更後 (士別方面へはトンネルを通行するルートに変更します)



通行止めリスクが低減 道路交通の安全性が向上



国道239号 霧立防災

- 当該事業区間では、平成24年4月に大規模な道路斜面崩壊が発生し、約60日間に渡る全面通行止めを強いられ、地域の水産物輸送等に大きな影響がありました。
- また、地すべりや落石崩壊の防災点検要対策箇所が多数存在しており、近年では時間最大雨量が増加するなど、災害の発生リスクが高まっています。
- 今回、地すべり地形や落石崩壊箇所を回避する新ルートを整備したことにより、道路交通の安全性の向上が期待されます。

国道239号通行止め時の迂回

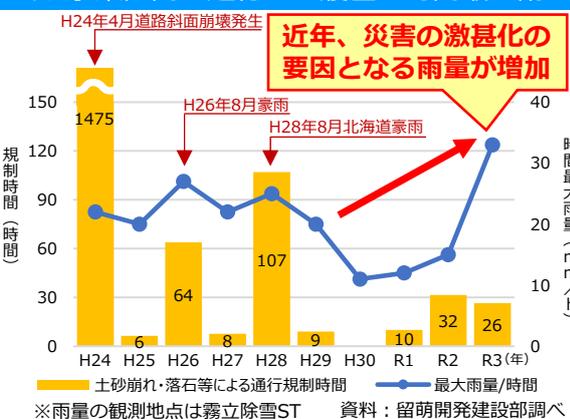


当該事業区間の 防災点検要対策箇所数

災害	現状	全区間整備後
地すべり	8	0
落石崩壊	15	0
雪崩 その他	14	0

全線開通により
通行止めリスクが低減

当該事業区間の通行止め履歴と時間最大雨量



事業区間内の防災点検要対策箇所と被災状況



資料：留萌開発建設部調べ

声【北るもい漁業協同組合の声】

・国道239号で大規模な災害があったときに、トレーラーが通行出来ずに大きな迂回を強いられました。霧立防災の整備により、大型輸送車両の通行が容易になることで、水産物の出荷先の拡大に繋がるため、早期整備を期待しています。